

2025 年 11 月 20 日（木）
2026 年 1 月 8 日（木）更新

令和 7 年度 千葉県 スタートアップ総合支援拠点事業 オンラインメンタリング 実施概要

1. 実施期間

開始日	2025 年 11 月 20 日（木）
終了日	2026 年 3 月 13 日（金）
メンタリング回数	期間中、1 社あたり最大 3 回まで
枠設定	各月 30 回までの枠を開放・設定

2. メンタリング概要

形式：オンライン（Zoom、Microsoft Teams、Google Meet 等）

時間目安：1 回あたり約 60 分

メンタリング構成例：

- ・ 趣旨説明・課題確認（約 15 分）
- ・ メンタリングセッション（対話式）（約 30 分）
- ・ アクションプラン提示・まとめ（約 15 分）

実施方法：

- ・ 申込時に提出された課題やテーマを中心に実施
- ・ メンターは各分野の専門家・経験者が担当（別紙 1 参照）

目的：

- ・ 個別課題の解決
- ・ スキルアップ
- ・ 実践的サポート
- ・ 目標達成とアクションプラン策定の支援

3. 対象者

「必須条件」

1. 法人（スタートアップ・中小企業）または個人（個人事業主・起業予定者）で以下を満たすこと

法人の場合：

- ・ 事業を立ち上げ済み、または事業化に向けた体制・計画を有する
- ・ 初期段階の実績あり（例：プロトタイプ開発、PoC、顧客ヒアリング、知財出願等）
- ・ 市場展開の見通しや検証方針が示されている

個人の場合：

- ・ 具体的なビジネスプランを有し、課題仮説・提供価値・想定顧客が定義されている
- ・ 実行に向けた初期アクションがある、または短期に着手可能な計画がある
- ・ 起業・事業化に向けてメンタリングを受ける意欲がある

2. 成長志向が明確である（例：上場、M&A 等のイグジットを目指す）
3. 千葉県内を拠点とし、県内での事業活動や雇用創出を目指している

「推奨条件」

1. 成長支援への積極参加
2. メンタリングや外部支援を活用する計画を明確化している

4. 申込方法

申込開始日：2025 年 11 月 20 日（木）

申込締切日：2026 年 2 月 28 日（土）

メンタリングのフロー：

① メンティによる申し込み

- ・ 以下のフォームに必要事項を記入し送信

<https://form.run/@chiba-innovation-crossing-mentoring-2>

※必要事項

会社概要、希望するメンタリングテーマ・課題内容、希望メンター（第 3 希望まで）、日程調整ツールリンク（別紙 2 参照）など

② 事務局による調整

- ・ フォーム内容をもとに、事務局がメンターを調整
- ・ メンティには、メンター決定のお知らせを送付
- ・ メンターには、メンティが申し込み時に発行した日程調整ツールリンクを送付
- ・ メンターがメンティの希望日時に合わせてオンラインメンタリング予約を確定

③ オンラインメンタリング実施

④ アンケート・フォロー

- ・ 実施後、事務局よりアンケート送付。
- ・ 必要に応じて今後のご案内。

※申し込み確認後、事務局より受付確認および今後の案内をメールで送付いたします。

※事務局の判断により、オンラインメンタリングを受けられない場合があります。

※事務局または千葉県の担当者が同席する可能性があります。

5. お問い合わせ先

令和 7 年度 千葉県スタートアップ総合支援拠点事業 運営事務局（アデコ株式会社）

メールアドレス：info@chiba-startup.jp

公式サイト：<https://chiba-startup.jp>

※本事業は千葉県より委託を受け、アデコ株式会社が運営しています。

以上

(別紙 1) 令和 7 年度 千葉県 スタートアップ総合支援拠点事業 オンラインメンタリング メンター一覧

	<p>小村 隆祐 Venture Café Tokyo Executive Director</p> <p>#経営戦略 #人材育成 #組織開発 #アントレプレナーシップ</p> <p>同志社大学経済学部卒業、Babson College F. W. Olin Graduate School of Business (MBA)。大学卒業後はメーカー系IT企業にて、主にマスコミ業界におけるアカウント営業業務や映像伝送に関わるクラウドサービスの立ち上げプロジェクト等に従事。MBA留学を経た後、グロービスにて人材育成・組織開発コンサルティング部門に参画。大企業の次世代経営者育成やスタートアップの組織開発等を手掛けつつ、起業分野のコンテンツ・教材開発も行う。ポスhtonに拠点を置くNPO「Binnovative」立ち上げメンバー</p>
	<p>長森 リイ 株式会社Leafflow 代表取締役 Venture Cafe Tokyo Partner TIB Community Manager Lead</p> <p>#連続起業家 #女性リーダー育成 #資金調達 #CtoC #ECコマース #マーケティング #ブランディング</p> <p>連続起業家。慶應大哲学科卒。マースクラインでの国際物流経験を経て独立し、子供服リユースEC「キャリーオン」を創業・売却。2021年にCBDブランド「Leafflow」を設立。女性起業家支援や新規事業創出にも注力。Tokyo Innovation Baseにてコミュニティマネージャーリードを務めるほか、Thursday Gatheringの企画を担当。特に女性起業家を中心としたスタートアップ支援、新規事業創出支援、DEI推進に強みを持ち、東京都やJETROなど公的機関でも多数のメンタリング実績を持つ。</p>
	<p>真島 隆大 Global Business Development Advisor</p> <p>#組織開発 #コミュニティマネジメント #イベント企画運営 #マーケティング戦略</p> <p>9歳からスイス・ジュネーブで育ち、国際的かつ多文化な環境での生活を通じて柔軟なコミュニケーション能力と多様な価値観への理解を養う。大学卒業後は日本に帰国し、大手人材サービス企業にてキャリアをスタート。法人向けの採用支援や組織開発プロジェクトに従事し、人材業界の基礎を習得。その後、事業課題解決型プラットフォーム「DMM.make AKIBA」の施設にてコミュニティマネジメントを担当。直近はフォースタートアップスにてGRIC (GROWTH INDUSTRY CONFERENCE) の立ち上げ・企画立案から実行までをリード。スポンサーセールスでは40社からの協賛を獲得し、限られた予算内でのマーケティング施策を通じて1.2万人の参加登録を実現。</p>
	<p>難波 亮太 株式会社Olinex 代表取締役</p> <p>#オープンイノベーション #産学官民連携 #コミュニティマネジメント #AI #サプライチェーン</p> <p>岡山大学卒業後、繊維専門商社・豊島株式会社に入社。複数アパレルブランドにおけるデータ分析業務やDX推進を通じた素材領域のサプライチェーン業務の効率化に携わる。その後、スタートアップと大企業のオープンイノベーションを支援するプラットフォームを運営するCrew株式会社にて、スタートアップ支援および大企業とのオープンイノベーションプログラムの企画・運営に従事。2023年に株式会社Olinexを創業。イノベーションコミュニティの運営や新規事業開発支援を通じて、産学官民を横断する共創型のエコシステム構築に取り組んでいる。</p>
	<p>飯田 蔵士 株式会社ErudAite ファウンダー/CEO</p> <p>#資金調達 #M&A #経営戦略 #ファイナンス #AI</p> <p>HR Techベンチャーの国内事業責任者を勤めながら、スタートアップ・ベンチャーのアドバイザーや執筆、翻訳、デザイナーとしても活動。日本HPでSEとしてキャリアをスタートさせたのち、外資プロフェッショナルファームErnst&Young、アクセンチュア株式会社でそれぞれM&Aアドバイザー、戦略コンサル部門マネージャ、外資メーカーのデル・テクノロジーズ株式会社、レットノット株式会で事業部長、管理本部本部長などを経て現職。一般社団法人日本CHRO協会誌『内発的動機経営の現在』、月刊人事マネジメント『研修トレンド』連載中。Amazon金融部門ベストセラー『未来をつくるファイナンス』執筆。一橋大学大学院 (MBA in Finance) 修了。日本行動経済学会会員。電子マネーに関するBizモデル特許取得 (HP社に権利譲渡済)。一般社団法人日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート。</p>
	<p>畑瀬 研斗 株式会社MEMORY LAB 代表取締役</p> <p>#研究開発 #ビックデータ #データサイエンス #学術DX</p> <p>高校卒業後渡米。米国のニューヨーク州立大学オルバーニ校にて脳神経科学と心理学専攻を終了。帰国後、理化学研究所客員研究員を経て、慶應義塾大学研究員を兼任。在学中、2021年にMEMORY LABを設立。知の結集である論文・ビッグデータを活用し、これまで研究者しかアクセスできなかった論文情報を誰もが『簡単』『迅速』にアクセスできる世界を目指す。</p>

	<p>瀬川 尚之 株式会社NTTドコモ チーフイノベーション エバンジェリスト</p> <p>#CVC #資材調達 #事業開発 #オープンイノベーション #R&D</p> <p>NTTドコモ入社後、インフラ設計からキャリアを始め、資材調達、国際ビジネス、人事など幅広い分野を経験。MBA取得のため海外留学を経て、2013年にドコモイノベーションズ社長に就任し、シリコンバレーで北米スタートアップとの連携・出資を推進。2016年にNTTドコモベンチャーズ副社長、2018年に同社社長となり、CVCとして多数の投資・協業をリード。2021年からはR&Dイノベーション本部で新規事業創出及びその仕組み作りに注力し、2023年より現職。</p>
	<p>石川 洋人 一般社団法人Arc & Beyond 代表理事 / Co-Founder</p> <p>#投資 #MBA #社会課題解決 #アクセラレータープログラム</p> <p>大学卒業後、米JPモルガンに入社し投資銀行業務に従事。その後、現ソニーグループ㈱に入社し、海外事業を担当。2009年にミシガン大学でMBA取得後、CEO/CFO専任スタッフとしてソニーの構造改革を推進。2015年にTakeoff Point社を米国で設立し、複数の社会課題解決事業を立ち上げる。2024年に一般社団法人 Arc & Beyondを設立。その他、日米の大学の非常勤講師、アクセラレータープログラムのアドバイザーとして、起業家教育・起業家支援にも携わっている。</p>
	<p>斉藤 一実 株式会社 EntreBiz 代表取締役</p> <p>#事業開発 #商品企画 #オープンイノベーション #アクセラレータープログラム</p> <p>富士通研究所にて開発と研究所技術の事業化を推進。企画、技術開発、商品化、拡販まで幅広く担務。商品企画室長を務めた後、2015年新規事業創出制度を設立し責任者を務める。全社12万人の参加するプログラムへ発展させ、600案件以上を審査・育成。社内事業化4件、VCからの出資を得てスタートアップ1社をカーブアウト。また、大企業の新規事業部門のコミュニティを発起。事業創出勉強会、企業交流ハッカソン等で大企業間オープンイノベーションに取り組む。2024末 富士通から独立し、大手企業新規事業メンター、スタートアップ支援メンター、アクセラプログラム設計・運営支援など、新しい事業の立ち上げを支援</p>
	<p>富田 阿里 株式会社スマートラウンド チーフエバンジェリスト</p> <p>#組織開発 #オープンイノベーション #社会課題解決 #コミュニティマネジメント</p> <p>神戸大学海事科学部を卒業後、インテリジェンス入社。IT・製造業の採用支援に従事。その後、2016年にセールスフォース・ドットコムへ入社し、翌年スタートアップ戦略部を立ち上げ。2019年にスマートラウンドにCOOとして入社し、組織の立ち上げに貢献。2024年6月末に同社取締役を退任後、社会課題とビジネスをつなぐ新しい仕組みづくりに取り組むため、株式会社WORKPARKを創業。025年より名古屋市客員起業家。</p>
	<p>加々美 綾乃 CIC Institute アシスタント・ディレクター - CIC Japan合同会社</p> <p>#ライフサイエンス #オープンイノベーション #エコシステム #海外展開支援</p> <p>博士（理学）を取得後、2012年に文部科学省に入省しライフサイエンス政策や国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の設立に携わる。2017年にマサチューセッツ工科大学に留学（修士課程）し、スタートアップエコシステムを研究。帰国後、内閣府科学技術・イノベーション事務局や文部科学省核融合分野担当を経て2021年にCICに転職。現在はライフサイエンス分野のスタートアップの成長支援や海外展開支援等に携わる。</p>
	<p>平野 歩 OurPhoto株式会社ディレクター</p> <p>#連続起業家 #EC #事業売却 #エンジェル投資 #プラットフォーム</p> <p>2社の会社売却・事業売却の経験があるリアル・アントンプレナー（連続起業家）。2015年に写真撮影サービスのOurPhoto株式会社を起業し、2020年に株式会社化するに売却。その後、2021年に教育EC事業を創業し、2022年に株式会社GAKKEN CC（学研グループ）に売却、GAKKEN CCの取締役も行う。現在、大手企業向けに新規事業の立ち上げ支援、またスタートアップ数社にエンジェル投資も行っている。</p>

	<p>雨宮 秀仁 IE/イノベーションエンジン 情報経営イノベーション専門職大学 客員教授</p> <p>#ベンチャー支援 #事業開発 #オープンイノベーション #インベストメントパートナー</p> <p>茨城県那珂市（現：ひたちなか市）出身。水戸第一高等学校を経て、明治大学法学部（経済法、独占禁止法専攻）を卒業後、日本合同フィナンズ（現・ジャフコ）に入社し、広島支店でベンチャー支援を担当。その後アスカネットに転じ、フォトブック事業の企画・立上げ、製造ライン構築や改善活動、内部監査を手がけ、2005年には東証マザーズ上場を経験。メンバーにてディビジョン長として全社品質・生産性向上やWeb運用サービスを推進。2017年からはイノベーションエンジンにてインベストメント・パートナーとしても活動。さらに2023年5月より情報経営イノベーション専門職大学（IU）客員教授に着任。</p>
	<p>藤田 健司 三井住友海上火災保険ビジネスデザイン部 部長</p> <p>#リスクソリューション #オープンイノベーション #ビジネスマッチング #組織開発</p> <p>東京都出身。都立両国高校を経て1990年早稲田大学法学部卒。グループ業務プロセス改革プロジェクトに参画した後、営業推進部門、企業営業部門を経て2016年より現職に従事。VCやアクセラレーターとの協業を通じて新たなリスクソリューション策を展開し最新の保険技術を駆使してスタートアップ企業の成長を支援。また三井住友海上キャピタルを兼務してビジネスマッチング、オープンイノベーション、ビジネスディベロップメントを通じた投資先のバリューアップを手掛ける。</p>
	<p>高井 志保 クオンタムリーベンチャーズ（QXLV）アソシエイト</p> <p>#事業開発 #AI #マーケティング #ベンチャーキャピタル</p> <p>ヤフー株式会社で新規事業、米スタートアップの日本チーム立ち上げ等、IT系企業でのビジネス開発に従事。2017年に社員数10名ほどのAIスタートアップに入社すると同時に、広報PR・マーケティングにキャリアチェンジ。シリーズA～CまでのAIスタートアップ複数社で経験を積み、2022年2月に独立系VCのQXLV（クオンタムリーベンチャーズ）に入社。投資業務を中心に、投資先の広報支援も従事。2025年設立の一般社団法人Women AI Initiative Japan理事。</p>
	<p>國本 知里 Cynthialy株式会社 代表取締役</p> <p>#AI #事業開発 #SaaS #リスクリング</p> <p>早稲田大学大学院卒業後、SAP・AI スタートアップにてSaaS・AI領域の大手向けコンサルティング営業・事業開発に従事。その後、1社創業しAI領域の事業開発支援・DX特化ハイクラスエージェントを立ち上げ。2022年にCynthialyを創業し、企業向け生成AI人材育成・AI定着化支援事業、AI Work Transformation事業を展開。女性のAIリスクリングに取り組む、一般社団法人Women AI Initiative Japan 代表理事。情報経営イノベーション専門職大学 客員教授。一般社団法人生成AI活用普及協会 常任協議員。「ビジネスパーソンのためのChatGPT活用大全」「クリエイターのためのChatGPT活用大全」監修・Amazonベストセラー1位。</p>
	<p>渡邊 愛子 株式会社Josan-she's 代表取締役CEO</p> <p>#資金調達 #ヘルスケア #女性起業家支援 #社会課題解決</p> <p>看護師・助産師資格取得後、都内大学病院に就職し、ハイリスク分娩管理に従事。自身の妊娠出産と、助産師としての経験を活かし、日本の産前産後ケアの革新に注力するために2021年10月に株式会社Josan-she'sを設立。YazawaVenturesを含む複数の投資家から資金調達に成功し、助産師を中心とした女性専門職のシェアリングプラットフォームとして、複数の産後ケアサービスを展開中。家庭や医療従事者から幅広い支持を得て、新しい働き方と育児支援のモデルを提案する。二児の母。</p>
	<p>やまざき ひとみ Ms.Engineer株式会社 代表取締役</p> <p>#IT #ジェンダーレス #女性キャリア支援 #教育プログラム #地方創生</p> <p>東京都出身。Ms.Engineer株式会社代表取締役CEO。サイバーエージェントで「アメイバビグ」立ち上げに携わり、2015年に独立。2021年、IT業界のジェンダーギャップ解消と女性のキャリア支援を目指してMs.Engineerを設立。日本のIT分野の経済成長に寄与できるエンジニア人材の輩出を目的に、女性向けITエンジニア教育プログラムを運営している。</p>

(別紙 2) 日程調整ツールのリンクについて

日程調整ツールとは、複数の候補日時を提示し、関係者がオンライン上で希望日時を選択できる仕組みです。

メールや電話でのやり取りを省き、自動で空き時間を調整できる便利なサービスです。

メンターとの日時調整に使用するため、申し込み時に日程調整ツールのリンクをご発行ください。

以下の条件を満たすツールをご利用いただけますと幸いです。

- ・ 複数候補日時の設定が可能
- ・ 自動で確定通知が送信される

「日程調整ツールの例」

ツール名	公式リンク	特徴	
SPiR	https://spir.jp	シンプルな UI、日程調整に特化	日本語対応、ビジネス利用に適した設計
Calendly	https://calendly.com	Zoom や Teams 連携、シンブル操作	無料プラン充実、リマインダー機能あり
TimeRex	https://timerec.net	Google/Outlook 連携、日本語対応	国内利用者多く、UI がわかりやすい
Microsoft Bookings	https://www.microsoft.com/bookings	Microsoft 365 連携、Teams 対応	企業利用に最適

※ツールの選定および利用は、利用者の判断に委ねられます。本事務局は、ツールの動作や利用に伴うトラブルについて一切責任を負いません